

## 「協同農業普及事業に関する意見を聴く会」

### 1 就農の動機

- (1) 大学や就職先が農業関連で、いつしか農業に対する興味が高まり、「自分で農業をやってみたい」、「農業こそ自分の天職ではないか」と思ったこと。
- (2) 妻の理解。
- (3) 志布志市農業公社の存在

### 2 就農の経緯

- (1) H17 年 3 月 31 日 : 大学卒業, 同年 4 月 : 企業就職
- (2) H19 年 8 月 1 日 ~ : 就農予定地探し (就農相談会, インターネット等)
- (3) H22 年 1 月 15 日 : 退職
- (4) H22 年 2 月 1 日 ~ : 志布志市にて法人農家に一時就職
- (5) H22 年 7 月 1 日 ~ 24 年 6 月 30 日 : 「志布志市農業公社」で 2 年間研修
- (6) H24 年 7 月 1 日 : 就農 (ハウス面積 : 21 a)

### 3 普及指導員との関わり

- (1) 公社 1 年生の時
  - ア 普及センター主催の技術・経営に関する「基礎研修」に参加。
  - イ 10 月 ~ 翌 5 月まで, 2 週間に 1 回, 研修ほ場において, ピーマン担当普及指導員から 1 P M 指導。  
→ その時に, 普段疑問に思っていることなどについても相談。
- (2) 公社 2 年生の時
  - ア 「就農計画」, 「資金計画」作成の支援を受ける。
  - イ 既存農家とは別に, 5 回シリーズでピーマン基礎研修を受講。
- (3) 就農当初
  - ア ハウス建設予定地の土壌理化学性調査と対策指導。
  - イ 栽培計画作成支援。
- (4) H25 年度 ~
  - ア 普及センターが事務局を持つ, 「土着天敵研究班」と「難病害対策研究班」に加入し活動中。現在「難病害対策研究班」の班長を務める。
  - イ 普及指導員や他の研究班員と「ピーマン土着天敵活用マニュアル」を作成し, 今年 6 月に研修会開催。部会員から好評を得る。

### 4 普及指導員に対して思うことと, 今後の普及事業に求めること

- (1) 農家は, 栽培経験が未熟な時期に知り合った普及指導員の影響を強く受ける。
- (2) それ故に, 担当普及指導員の知識や熱意, 考え方によりその後の営農が左右されやすい。
- (3) しかし, 普及指導員の知識や熱意, 仕事への向き合い方について, 資質の差があると感じる。
- (4) 当産地のように, 毎年, 新規参加者が就農する地域では, 知識だけではなく, 農家や産地に対する熱意のある普及指導員が必須。